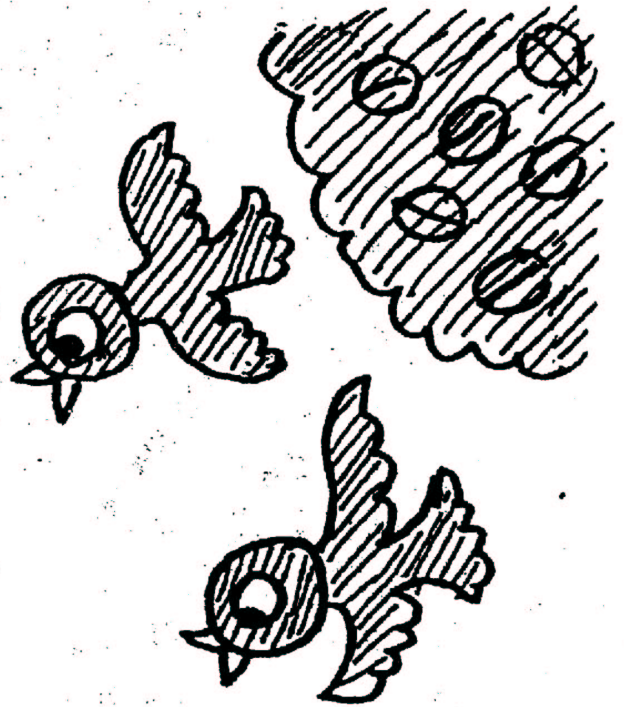


エコー

1994.8.10 No. 37

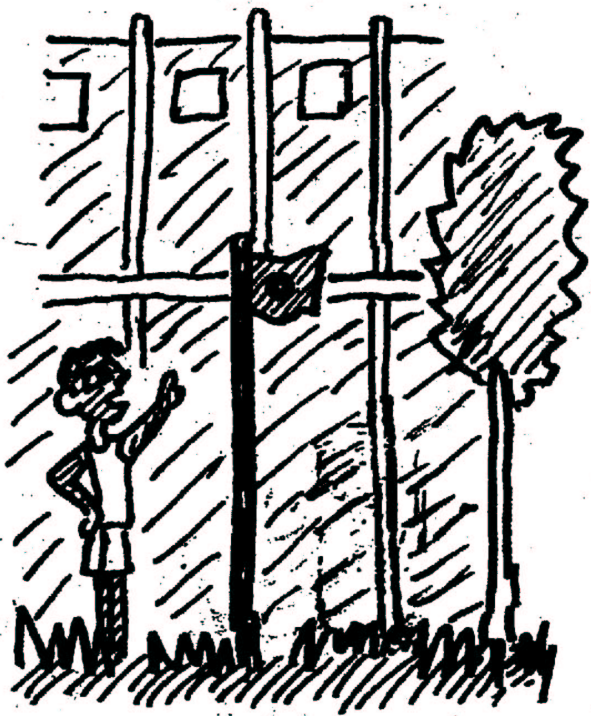
バンクラデシユと

手をつなく会



おかげさまで みんな元気で帰ってきました

くわしくは 報告会と
報告書をおたのしみに!



7月16日福岡を出發したバンクラデシユ訪問の6人は8月1日元気で帰ってきました。みなさまのご協力で職業訓練と保健センターをかねた美しい立派な建物が2階まででき上がっていました。村の委員会「シヨインタニシヨンスター」を中心に村は希望に燃えて動いていました。とりあえず報告と感想をおとどけます。

大木松子 (1)

教育部門

ますます明るく「教育」は広がる！

今回は、私達の協力でできたジャパニ小学校・幼児学級・第一小学校・中学校等で、歌、ゲーム、お絵描き、紙飛行機、生徒や先生との話し合いと、充実した日々でした。その上、去年できた第三小学校・夜間学級にも行きました。第三小学校は教室が狭いので竹藪で、ノートがないので石板。夜間学級は電気がなく暗いランプで、と胸の痛む状況でしたが元気に勉強していました。この一週間で感じたのは、先生も生徒も積極的で、交わりが人間的なより楽しいものになったこと、村中に教育への意欲がますます広がっていることでした。日本の子供達への手紙も沢山書いてくれて「ペンフレンド」への希望を持つこともできました。

大木松子

現地訪問参加メンバーの声 No.1

大地の熱と人の熱気

多方 一成

コンクリート道の照り返しとは違うカラムディ村の大地の熱は、その湿気を含んで執拗に私の身体に迫ってきた。一方、カラムディ村の人々は、日本からやって来た客人を一目見ようと、何処へ行っても私達を取り囲んだ。人の熱気がこれほど熱いものかは、汗が噴き出す度に拭く回数に表われた。

大地の熱と人の熱気がない混ぜとなって、私達の計10日間のカラムディ村での生活を支配した。そしてそれは、人の熱気が生きる原動力を意味し、大地の熱は、過酷な環境を問題としない村人たちのたくましさを意味していた。夕刻、雨が降った後、泥んこの道をラフマン家までとぼとぼ歩き、泥がいっぱいだった靴の、あの重さが妙に体感となって印象に残ってしまっている。



(2)



保健医療部門

「母子保健センター」建設へ！

保健医療部門では昨年到现在、1)診療活動、2)環境調査（飲料水の水質検査）、3)健康調査（小学生の便寄生虫検査）を行いました。ピレッジドクターの準備と協力で昨年に比べ、かなりスムーズに活動することができました。また、診察は新しく作られた建物の2階で行われたのでとても快適でした。しかも今年初めて、看護婦のpretty森さんが参加してくれたので、仕事も捗り、患者さんや手伝いのピレッジドクター達も大喜びでした。でも、患者さんが連日200人以上押し掛け、中には数十キロも離れた町からやって来た方もおり、若干トラブルもあったようです。数多くの患者さんの中からピレッジドクター達が、重症で治療を必要とする順に選りわけて診察に回します。実質6日間で約250人を診察しました。

もう一つ、大きな課題は、この建物をどのように有効に使っていくかという事でした。村の若い母親や妊娠中の女性から妊娠やお産の状況を聞き、改めて母子保健の大切さを痛感しました。そこで、ノルジャマン医師やピレッジドクターとの話し合いで、今一番必要な「母子保健センター」として活用していきたいと考えています。（次回運営委員会で検討してもらいます。）

ニ、坂保喜



宮現地訪問参加メンバーの声 №2

ラフマン家のベランダにて

森 昌子

カラムディ村は、私の想像の域を越えた現状だった。毎日、今日という現実がやって来ては、自分の未熟さをおもいらされた。そんな私にとって、皆が寝静まった後のベランダでのひとときは、安らげる唯一の時間だった。認めたくは無いが、心のどこかで逃げ場を探していたのかもしれない。お気に入りのビニールで編んだ椅子に腰掛け、カラムディ村の風を感じ、匂いをかき、昼間の熱気のなごりを感じた。遠くから聞こえるラジオの音楽と、虫と蛙の音がいつの間にか子守歌となり、心地好い眠りを誘った。

バングラディッシュからインドへ

真子俊博

カラムディ村および回りの村へ井戸水のサンプリングに出かけた際、ピレッジドクターより、ここがインドとの国境線だと言われ、驚きや興奮など感じないまま、インドに入ってしまった。

国境線のないわが国では外国への入国は、少なからずわくわくするものですが、バングラディッシュとインド間ではそんなもの関係なく、のどかな農村という感じでした。

ぜひ、またバングラディッシュとインドとの国境をまたいで写真を撮りたいと思います。

帰国報告会と運営委員会 8月20日(土) 3:00 どなたでも参加歓迎! 「アンジェラス」で →

福岡国際貢献フォーラム'94

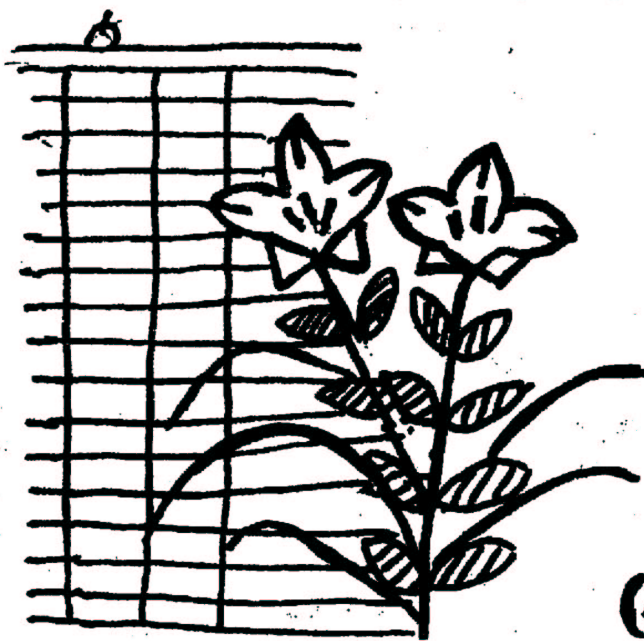
とき 9月10日(土) 12:00~17:00

ところ 福岡市役所大ホール(15F)

面口広場 主催 青年会議所

「手をつなぐ会」も参加します

大木宅



バングラディッシュと 手をつなぐ会

〒814

福岡市早良区西新5-5-13

TEL・FAX 092(822)5795

代表 大木松子

送金先

郵便振替 01720-2-10442

加入者名

(4) バングラディッシュと手をつなぐ会